

## 第4回委員会安曇野市黒沢洞合自然公園整備検討委員会 意見まとめ

## 1. 住民説明会での主な指摘事項への対応整理（当日配布資料1の内容順に整理）

住民説明会 10月1日(日)10:05～12:00 参加者 10名  
 ホームページでの意見募集 10月15日まで 2件5名

## &lt;凡例&gt;

黒色文字：説明会意見・募集意見

青色文字：第4回委員会への提示方針

灰色文字：第4回委員会での意見

⇒ 第4回委員会意見まとめ

## ①～② 整備方針・目指す公園像に関する意見

## ①-1 P1 に記載の「安心して利用できる」の表記に違和感を覚える。クマやスズメバチなどもいる場所であることを踏まえておく必要がある。

→(当日回答) 今後の計画具体化に際しての参考としたい。

→【第4回委員会】資料1 P1 5番目の柱の修正を検討。

- ・整備当初、三郷中学校の生徒のなかでも「安心」はキーワードとして挙がっていたが、福祉的な意味合いで用いていた。自然学習するうえで、危険を学ぶことは重要。
- ・「安心」ということばがあると、子どもがケガをした時などに親が苦情を言うことがある。目指すべきではあるが、外には出さないほうがよいのではないか。
- ・「安心して」には包容力を表したことばであると思う。どんな人が訪れることができるという意味合いを表せるとよい。例えば、「様々な人に来てもらえる」などとするのはどうか。
- ・「安心して」を抜いても意図している意味合いは通じるのではないか。

⇒「安心して」を抜いた表現とする。

## ①-2 昆虫の自由採集はよいが業者の大量採集を禁止にしたほうがよいと思う。

(ホームページ投稿)

→【第4回委員会】案内サインなどでの注意喚起で対応する方向で今後具体化。

- ・発信の仕方、サインに工夫が必要。
- ・単純に「大量採集禁止」と大きく掲げるのは公園の景観的にもよくない。
- ・「採集する人がお互い楽しめるよう一緒に守っていきましょう！」といったように協力を促すサインにするのはどうか。

⇒案内サインのほか、運営体制・公園の雰囲気作りのなかでも対処できる部分があることを確認。今後引き続き検討していく。

## ② 現在の池をみると、手入できないのならつくらないほうがよいと思う。

手入の体制、内容等を基本計画に盛り込む必要がある。

→(当日回答) 今後の計画具体化に際しての参考としたい。

※参考：ホームページ意見募集より

どあい公園の手つかず感が好き。小道のあるような自然な森でキハダやクロモジなどの木々が育つ公園になったらうれしい。

→【第4回委員会】

資料1・P4にこれまでの管理の状況や課題を整理。本日の委員会で意見交換。

- ・業者発注では、日程や内容の融通がつかず、目指す管理を行っていくのは難しい。地元有志のボランティア体制を構築して管理していく方法もあるのではないかと。
- ・地元中心が理想であるが、高齢化など組織を持続できなくなるケースが多い。行政と民間が役割分担していくことで持続しやすくなるのではないかと。
- ・烏川渓谷緑地も人が少なくなっている。
- ・ボランティアとひとくちに行っても有償か無償かということも検討課題である。
- ・過去の維持管理作業の発注資料の中に示されている「人力除草」を行っているのを見たことがない。水路清掃は夏に行っているのは見たことがあるが、落葉がたまっている一番必要な時期はやってくれず、自分で行っている状況。
- ・業者に発注する場合は細かく内容を決めてから発注する必要がある。

⇒整備完了後に円滑に管理体制に移行できるよう、計画内容がより具体に見えてくる段階で、管理内容を洗い出し、必要な人数や時期などを明確にしてから、行政と市民の役割分担を考えていく。

### ③～⑥ 計画内容に関するご意見・ご指摘

#### ③植栽・植物 ④進入路 ⑤水管理 ⑥トイレ

##### ③-1 草地・草原の部分の植栽種はどんなものを考えているか。

→(当日回答) 今後具体化していく段階で検討。

##### ③-2 樹名板をつけるとよい(目黒の自然教育園を例に)

→今後の具体化の参考としたい。

##### ③-3 植栽候補種としてシナノキ、エノキ、カエデ類、ヤナギ類を挙げたい。

(ホームページ意見募集での提案)

##### ③-4 駐車場の南のクララについては道路下のり面や日当たりのよい条件に移植したほうがよい。(ホームページ意見募集での提案)

→【第4回委員会】

南農生提案も含めながら、今後、植栽種の選定方針と主な植栽候補種を検討。

- ・クララの移植は3月上旬が適地。
- ・残っているものはそのまま残したほうがよい。
- ・クララはオオルリシジミの食草としてよく知られているが、ほかにもウラギンシジミ、ウラナミシジミ、ウスベニオオノメイガなどの食草となるため、公園のいろいろなところに新たに植えてよいのではないかと。

⇒拡張区域の植栽候補の一つとしてクララも挙げていく。

#### ④-1 進入路沿いの側溝はどうなるか？

水みちができてしまう進入路への対策を。大雨対策を考えた公園整備を。調整池からの進入路についても車のすれ違いできるような整備が必要では？

→(当日回答) 側溝を残しながらの待避所を検討中。

道路整備に関しては関連する部局とも調整が必要。

→【第4回委員会】資料1・P5に下流側の長野県で整備中の調整池沿いの道路整備計画の図面を掲載。詳細に関して県からききとった状況を報告。

- ・夏に砂利を敷いたがすぐに水みちができてしまった。
- ・山側に土留めをすることが考えられるが、斜面に虫を採りに行けなくなる。
- ・透水性舗装にすることも考えられる。
- ・砂利は直しやすいというメリットもあるため、慎重に検討するべき。
- ・調整池の進入の先(Eより先)は水たまりができやすいため対策が必要。市での計画はあるのか。

→都市計画課が担当となるが計画はない。区から要望があれば検討できる。

- ・区として要望は可能だが、あくまで現状復旧となる。
- ・区からの要望がなくても事務局と都市計画課で協議し、対策を検討するべきではないか。

⇒関係部局と担当課で進入路の整備(改善対策)について協議を行っていく。

#### ④-2 臨時駐車場の位置づけ扱いについて確認したい

→(当日回答)第3回委員会でも議論があった。案内表示などで対応し、様子を見る方向で検討する方針であることを説明。

#### ⑤-1 水の供給は不安定な条件。池などを作るのなら、公園整備に合わせて水を安定供給できるような措置を考えてはどうか？

→(当日回答)流量調査をもとに考えると現在ある水で池やビオトープに必要な量は確保でき得る条件。今後、規模構造を詰めていく中で具体化。

→【第4回委員会】水路そのものの改修については、本事業では対応困難であることをご理解いただきたい。

- ・取水量は決まっているため、水を容易に増やすことは困難。
- ・修理等が必要な場合は対策を講じる必要がある。
- ・ももとの川からの水を使っていて、そこに水力発電の余水も供給されているが後者は水量が不安定である。川からの水が一時詰まって来なくなっていたが、掘って復活させたため現在は安定している。

⇒水量については、関係方面に確認は行いが、公園整備の事業のために取水機能を全体的に改めるようなことは困難であることを確認。

## ⑤-2 冬季管理。日陰で凍るなどの課題が想定される。冬の池はどうする？

→(当日回答)冬季は原則閉鎖となる施設と認識しているが、委員会の中でも雪遊びの利用についての提言もあるので、今後の具体化のなかで対応を検討。

→【第4回委員会】

開園区域の冬季の使い方・水の管理について確認したうえで、対応を意見交換。

・冬季の水路は止めることも流すことも可能。開園区域においては、現在も必要な時に流している。

大元の取水口で水を止めることはない。

⇒冬季の水に関しては今後も現在と同様の運用になると考えられることから、これを念頭に置いて拡張区域の冬季の水の管理の方法、凍ることによる公園運営や生物生息環境への影響について検討・整理し、施設の内容に反映させる。

## ⑥ トイレの位置は一番下からも近くなるようにもう少し下にしてはどうか。

(HPでの意見募集での提案)

→【第4回委員会】メインの入園口を現在の駐車場分となるように誘導し、より多くの方が用を済ませることが容易で、施設整備も集約でき得る位置を、複数の候補のなかから選択した結果であることを確認。

⇒上記の方向でとりまとめていくことを確認した。

## ⑦その他

<説明会当日の意見>

○生態系へも一定の影響があることには留意すべき。

○北側樹林も含め広域的な管理や土地利用も考えての対応が必要。

(ホームページ意見募集でも同様のご指摘1件)

⇒森林環境税を活用した整備が始まる。現在は調査の段階。その結果がわかればまた報告する。(耕地林務課)

○意見の収集が十分とはいえない。中学生当時に関わった人の声なども集めるべきでは？

○予算も示してほしい。

<意見募集ページへの投稿提案>

○シンボルマーク、イメージキャラクターをつくったらどうか。

○区域外ではあるが、河畔沿いは倒木の整理などにより見通しをよくした方がよい。

⇒クマ対策、景観面でも必要であり、重点的に管理する必要があることから、その方法については、河川管理者とも協議していく。

## 2. 基本設計検討資料(園路広場計画)

### ①1 段目と2 段目をつなぐバリアフリー園路

- ・1 段目と2 段目をつなぐバリアフリー園路が必要。トイレの動線を考えても必要である。

⇒設置する方向で検討する。

### ②雨水処理

- ・C-C' 断面をみると園路のところに水がたまる形状になっているが、縦断勾配があるため、園路の舗装が流されなければ問題ないのではないかと思う。ほどよく浸透させながら、河川に放流できるとよいのではないか。

⇒無理に水を集過ぎるような排水処理構造にはしないほうがよいと考え、北側の広場は乾く地形(凸型)部分と凹地を設け、後者ではより自然な雨水浸透を期待できる空間としている。なお、現在は流域で徐々に水を浸透させることが原則であり、河川への放流を前提にした排水処理は難しくなっている。

なお、土壌の浸透能については今後調査する予定。

⇒ご指摘を参考に引き続き検討を進める。